

SAIL '0' 通信 NO. 69

大阪帆船と国際交流の会

Sail And International Link of Osaka

編集責任者 北村・辻村 2021年1月23日発行

会報目次

1. ボランティアレポート、他
 - ① 2020年度のボランティアイベントについて
 - ② 菱垣廻船保存プロジェクト 再開を楽しみに、コロナ禍でも大事なメンテナンス
2. 旅行記・イベント参加報告
 - ① つなでつなぐ なつ～帆船・人・港～2020
 - ② サザンクロス号 de 南十字星を見に行く 想定外の出来事は試練の航海！
3. その他、情報
 - ① 令和 3年度総会について
 - ② 令和3年度役員募集

記事本文

1. ボランティアレポート、他

① 2020年度のボランティアイベントについて

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、年度当初に予定していた①外国客船入港歓迎活動、②大阪城公園お花見会③咸臨丸160プロジェクト海わたる風～KANRIN-MARU～支援活動④天保山まつり参加活動⑤大阪マラソン市民ボランティア活動⑥大阪マリナーメルボルンハウス年末懇親会が全て中止や延期になり、会員相互の交流の機会を持つことが出来なかったことを残念に思っています。

しかし、3月15日、大阪北港で、『サザンクロス号 de 南十字星を見に行く!!』航海に続く『咸臨丸160プロジェクト「海わたる風～KANRIN-MARU～」』長崎対馬五島航海に出港するセイルボート『サザンクロス』を見送りに来られた多くの方々との集いがありました。『サザンクロス』は、大阪北港を出港後、串本港、徳島港、鹿児島内之浦港、奄美大島名瀬港、沖縄宮古群島伊良部島、名瀬港に寄港しましたが、新型コロナ禍の中、残念ながら、当初予定していた長崎対馬五島航海を断念することになりました。

4月15日、名瀬港を出港し、豊後水道、瀬戸内海を経て、4月22日には航海中に受けたダメージを修理するために小豆島琴塚の岡崎造船に入港し3500キロの航海を終了しました。

令和3年度は、令和2年度に行うことが出来なかった事業が実現できるよう願っています。

(中路さん)

② 菱垣廻船保存プロジェクト 再開を楽しみに、コロナ禍でも大事なメンテナンス

本来なら天保山まつりの菱垣廻船まちなかパレードに向けて作業が佳境になる頃。2020年10月25日、港住吉神社(大阪市港区)境内の浪華丸ヒガキくん(1/3縮尺 菱垣廻船)は、風雨に耐え1年が経過。コロナ禍が続く中、セイルオーメンバーをはじめ各所から集い、いつでも

再開できるようにと点検を兼ねて清掃作業を行いました。

養生シートは、紫外線対策品に取替。装飾品の修正と塗装とお身ぬぐい。長期間止まったタイヤは空気圧が減少。シャーシをジャッキアップし、タイヤを浮かせ重量負担を軽減させました。私たちの貴重な財産である浪華丸ヒガキくん。出来る限り劣化をくい止めなければなりません。そしてまた市民の皆さんに少しでも元気を届けたい。そんな想いで今も活動を続けています。一日でも早く新型コロナウイルスの収束を願い、まちなかパレードが再開できる日を楽しみに待ちたいです。これからも応援よろしく願いいたします。

(菱垣廻船保存プロジェクト 高見 昌弘さん)

2. 旅行記・イベント参加報告

① つなでつなぐ なつ～帆船・人・港～2020

淡路島津名港で2019年に開催されて帆船Ami号とサザンクロス号の体験セイリングで大成功した帆船イベント『つなでつなぐ なつ～帆船・人・港～2019』を東京オリンピックやセイルレガッタのある2020年も開催したい！小さな帆船イベントを2025年の大阪・関西万博につなげたい！という思いでいましたが...新型ウィルス感染拡大防止のため津名港ターミナルで人が集まるイベントができなくなってしまいました。東京オリンピック、セイルレガッタ、帆船Ami号とサザンクロス号が参加するはずだった長崎帆船まつりも秋に延期になり最終的には2020年は中止。練習帆船日本丸・海王丸も実習生を乗せられないままで夏を迎えようとしていた頃...帆船Ami号が夏の瀬戸内クルーズでやってくることに！イベントはできませんでしたが、帆船Ami号とサザンクロス号は『再会』するためだけに7月19日に津名港に寄港。

長かった梅雨が明けた青空の下『再会』することができました！帆船Ami号は溜船長とボランティアクルー。サザンクロス号は中路艇長とセイルオーのみなさんの5名。淡路島で合流したボランティアクルー、神戸新聞を見て会いに来てくれたゲストを含めて15名(1名撮影係)で記念撮影をしました。

翌日、以前は“海の日”だった7月20日に帆船Ami号とサザンクロス号はセイルをあげて“くにうみの島”淡路島津名港を出帆！少人数でしたが2020年の夏も“つな”で帆船・人・港を“つなぐ”ことができました！その場にいらなくても寄せ書きTシャツには、2019年に津名港に来てくれたセイルオー・帆船ボランティアのみなさん、日本丸・海王丸・みらいへ・あこがれ・葦船・古代式カヌー...帆のある風で走る船のキャプテンのサインも！帆船への思いはつながっています。

2021年、帆船Ami号は開港450周年を迎える長崎で帆船まつりに参加予定です。

新型ウィルス感染拡大の影響でどうなるかはわかりませんが、回航途中の大阪・淡路島で小さくてもフルセイルで走る帆船の姿を見る機会と帆船に乗る機会をつくって、夏には『つなでつなぐ なつ～帆船・人・港～2021』で『再会』し、ともに淡路島・瀬戸内を2025年の大阪に向かってセイリングしたいです！

(桜井 加津子さん)

② サザンクロス号 de 南十字星を見に行く 想定外の出来事は試練の航海！

”南十字星を見に行く長い航海から無事大阪に戻ってきた！浮き桟橋では、ヨット・サザンクロス号を出迎える大勢の人が大きく手を振っている”・・・と、なるはずだった。

◇2019年秋、少しずつ航海構想の輪郭が見えてきます。そして年が改まった2020年1月4日大阪梅田のレストランにクルー達が集い航海計画は具体化した。計画を見ながらの乾杯は格別だ。それは、大阪から沖ノ鳥島を目指し、宮古島/八重山諸島から奄美大島ほか、たくさんの島をめぐるもの。企画の名称は、協力艇の船名もあいまって「サザンクロス号で南十字星を見に行く」とし、2020年3月15日(日)10時、大阪北港マリーナからの出港とした。当時、新型コロナウイルスのニュースも少し報じられていたが、東京オリンピック2020開催など華々しい話題と今回の航海計画で、わくわく感満載だった。豊後水道、大分県国東半島から瀬戸内海。瀬

戸大橋をくぐると安堵。実は満身創痕のサザンクロス号は復路の4月22日、修理のため小豆島/琴浦にある造船所に寄港。

そして、しばらく経った6月6日17時、大阪北港マリーナに無事帰還した。

◇当初の航海計画を胸に予定通り3月15日(日曜日)朝。風は少し強く感じたが青空も見え申し分のない出港日和。セレモニーと記念写真が滞りなくお開きになり午前10時、サザンクロス号から見送りのお礼を込めて大きく手を振った。浮き桟橋にいる約20名がだんだん小さく見え、防波堤を出た。セイルに風をうけ海面を滑るサザンクロス号は高揚感いっぱい。

この時、まさか、こんなことになるとは!

◇徐々に強くなる風に不安がよぎり始めたのは友が島水道通過してほどなく。波が少し高くなってきた。陽が沈むころには強風が変わり、南へ向かうサザンクロス号の行く手を阻み低気圧が襲う。この時、既に夜の海。風が鳴き、数メートルの波が船体を叩き、何度も上下動を繰り返す。必死で進もうとする船首が大波とぶつかる時の大きな音が今も耳に残る。暴風雨で視界不良。既に潮岬を過ぎた海域で動揺するサザンクロス号は避難をきめた。真夜中に時化る海、引き返すように串本大島を目指した。ずぶ濡れになりながら足を踏ん張り、力いっぱい舵輪を握る艇長。知る限りの歌を大声で唄い共に気合を入れる。夜明け前、かすかな街の灯りをたよりに串本港にたどり着いた。

◇ここで苦渋の選択。コースを変更し船首を室戸に向けることに。しかし、今度は紀伊水道で、電気系統にトラブルが。修理が必要なため急遽、最短の徳島へ向かった。24時、暗がりの入港にも親身になりサポートしてくれた徳島の仲間達に感謝。お陰さまで不安解消。数日を徳島で過ごして土佐清水を目指すことに。気を取り直し、航海を再開。速力約6ノットで気持ち良く機帆走。気象状況から、土佐清水を抜港し、一気に宮崎油津まで足を延ばすことに変更した。

右舷の遠くに足摺岬が見えている。結構な距離を進んでいると思いきや何時間経っても足摺岬が見えたまま。そう、黒潮につかまっていたんです。ようやく豊後水道を横切り宮崎に接近。ヨット仲間からの助言で寄港地を油津から志布志湾 内之浦港に変更し入港。

ここで人懐っこいマグロ漁船の船長らと遭遇。漁船の眩しい照明と生臭い作業デッキで旨い酒と鮪をアテに夜の懇親会。出会いに感謝です。

時化や様々なトラブルがあるも人間万事塞翁が馬を思いつつ翌朝サザンクロス号は、内之浦港を後にした。引き続きワッチ交代で進める夜航海を繰り返しながら吐噶喇列島の東側を南下。

この頃、低気圧がどんどん近づいてくる。そんな訳で奄美大島/名瀬港に暫定寄港することに。お風呂や居酒屋、地元の知人とも楽しいひと時を過ごせた。

名瀬出港後、沖縄本島を過ぎ、当初の目的地である宮古島/伊良部島の佐良浜漁港に3月27日に無事到着。ほどなく停泊しているサザンクロス号を見つけた地元の漁師さん。港から歩いてすぐの小高い丘にある自宅に私たちに招待。眼下に小さくサザンクロス号が見えていた。美味しい料理と旨い焼酎、三線(さんしん)の島唄ライブに心が躍る。

◇4月10日佐良浜漁港を出港。航海中は携帯電話の電波状態が不安定で情報は断片的にしか届かない。そして4月の緊急事態宣言。地元の食堂で耳にした言葉に衝撃を受けた。「あんたらは観光か? 島外の者には食事は提供できん!」沖縄にも感染のリスクを危惧するニュースが流れた。まさか新型コロナウイルスが、ここまでになるとは夢にも思わなかった。この時、当初予定していた長崎寄港以降の航海計画を断念し、帰阪を決めた。

航海そのものが非日常。しかし今回、陸でも経験したことのない日常が今も続いている。

これからは時化やトラブルは想定しなければならない。南十字星を見るのは、おあずけになったが、お陰さまで貴重な航海体験できた。仲間をはじめ多くの人たちのサポートにより実行できたことに感謝。

(高見 昌弘さん)

3. その他、情報

① 令和3年度総会について、下記の通り、開催のご案内をいたします。

●開催日時:2月27日(土)10時から12時まで

●開催場所:大阪ボランティア協会会議室

(大阪府中央区谷町2丁目2-20大手前類第1ビル2階)

●出欠:同封の葉書にて出欠を2月13日までにご返信ください。

*状況により開催の中止をお知らせすることになることも考えられます。

その際は、事前に総会資料を送付いたします。

② 令和3年度役員募集

●役員:代表【中路】、副代表【高見】、事業担当【遠藤、谷口、田中(孝)、吉川、中津留、土井】、広報担当【北村、辻村、藤本、井堀】、会計担当【古江、岩村】、会計監査【大西】

*【】は現職。敬称略。

●任期:令和3年4月1日から令和4年3月31日

編集後記 :

以前赴任していた長崎も、コロナの影響でことごとくマリーナ行事がキャンセルされています。先ずは皆様のご健康と、一刻も早い収束を願います。(北村)

今年も佐賀県にいます。コロナで大変な状況で、大阪に帰ることもあまりできませんが、また、遠方からオンラインで活動に参加したいと思います。きっと、皆さんにお会いできる日が来ると信じしています。(辻村)